

## 「失敗したり 一つひとつ壁にぶつかり まだまだ学び続ける」



居宅介護支援事業所  
ケアプランセンター白山  
所長／介護支援専門員

### 佐久間直美さん

さくま・なおみ ●医療法人和光会「ケアプランセンター白山」所長。  
2005年に入職。特別養護老人ホームの介護支援専門員を長く務めた  
後、17年4月より現職

### 短

大を卒業して、別法人の特別養護老人ホームで数年働いた後、2005年に和光会に入職しました。以来、法人内の特別養護老人ホームで施設ケアマネとして働いてきました。

昨年春、現在の居宅介護支援事業所へ異動となったのですが、異業種へ転職したのではないかと思うほど施設と居宅では仕事の内容が異なり、驚きました。和光会では現場型のリーダー育成に力を入れており、私も所長に抜擢して

いただいたのですが、まだまだ居宅ケアマネとしての経験値は新人同様。周りの方に教えてもらいながら、学ぶ日々です。

施設と居宅で異なる点としては、施設ではケアが中心でしたが、居宅では介護保険の仕組みについて深い理解が求められる。こんなに種類があるのかとびっくりするほど、多様なサービスについて

知っておかなくてはなりません。施設ではご利用者ご本人の生活支援という側面が強いですが、居宅ではご家族や地域も含め、生活背景全体を視野に入れる必要があります。

地域の方からの支援がうまくまとまり、ご自宅での暮らしが実現できるよう、チームの一員としてサポートしていくことに、とてもやりがいを感じています。在宅での生活

は、施設と比べてご本人が選択することが多く、自由で、いきいきしていらっしゃる姿を見るのがうれしいです。

今の職場へ来て約1年。「点と点」だった情報がようやくつながりはじめ、仕事の流れを「線」で捉えられるようになってきました。どんなことでも経験し、失敗したり、壁にぶつかったりしながら、学んでいきたいと思っています。





## 医療法人和光会

居宅介護支援事業所 ケアプランセンター白山  
小規模多機能型居宅介護 ファミリーケア岐阜

岐阜県岐阜市東金宝町1-12  
山田メディカルクリニックビル内  
TEL : 058-265-1411  
URL : <http://www.wakokai.or.jp/>

# 「最適なケアプランづくりができるよう、引き出しを増やしていきたい」



小規模多機能型居宅介護  
ファミリーケア岐阜  
介護支援専門員

## 眞野純子さん

まの・じゅんこ ●医療法人和光会 小規模多機能型居宅介護「ファミリーケア岐阜」に介護支援専門員として勤務。2002年に入職。グループホーム、居宅介護支援事業所での経験を活かし、利用者のケアプランづくりに取り組む



撮影：鈴木健司  
文：山口イズミ

**介** 護保険制度ができた2000年に福祉系の大学を卒業し、名古屋の特別養護老人ホームでキャリアをスタートさせました。  
結婚を機に岐阜に転居し、02年に和光会に入職しました。出産、育児の都合でグループホーム、居宅介護支援事業所、そして現在の小規模多機能型居宅介護へと異動しましたが、和光会には職員が利用できる託児所があるので、子どもを預けて安心して働くこ

とができたのが、とてもありがたかったです。また、異動により異なる立場での介護支援を経験することができ、ネットワークも広がり、地域の方々と連携するうえでも役に立っています。  
小規模多機能型居宅介護は、とても自由。ご利用者一人ひとりのニーズに合わせて、訪問・通所・宿泊のサービスを柔軟に組み合わせられる反面、自由なだけに、職員の人数など現場のキャパシ

ティを考えて3つのサービスを配分するのに、苦勞するところもあります。「家にいると不安だから、ずっと宿泊したい」とご家族が言われても、本来はご自宅で生活し続けることを支える役割のサービスですから、まずはどこに不安を感じるのかを把握し、それを解消するために別の介護サービスも提案していくこともあります。事業所がある山田メディカルクリニックビルにも、そのためのいろいろな

介護サービスがあります。よりの確な提案をしていくためには、もっとたくさんの方の知識や経験、情報を持つことが大切だと感じています。介護保険は利用する人にとって、わかりにくい面もあるので、情報をやさしくお伝えすることも重要です。医療的な知識などまだまだ知らないことも多いので、さらに勉強して情報の引き出しを増やしていきたいです。